

# 一般質問

2月13日  
本会議

◆質問と答弁は要旨を掲載しています。  
◆一般質問の全文(会議録)は、6月中旬にホームページに掲載します。  
◆スマートフォンなどで2次元コードを読み取ると、各議員が一般質問をしている動画にアクセスできます。



成島 ゆかり

(公明党)



## 介護施策について問う

【質 問】介護インターンシップ制度の導入など、官民一体的な協議会の設立も視野に、実効性のある介護人材確保の取組みの強化が必要と考え、見解は。

【区 長】第10期介護保険事業計画の策定において、他自治体の取組事例も参考に有効な対応策を検討していく。

【質 問】介護認定調査の平準化と効率化を図るため、タブレット端末を導入すべき。

【区 長】課題などを収集・分析し、タブレットの導入も含めた認定調査のデジタル化を検討していく。

## 带状疱疹ワクチンの定期接種化について問う

【質 問】定期接種の対象とならない50～64歳についても助成すべき。

【区 長】現在、50歳以上を対象に任意接種を実施しており、定期接種化により対象外となる50～64歳への対策は必要と考える。7年度は都の補助金を活用し、6年度同様の



おばた

健太郎

(民主クラブ)



## 行政手続きのオンライン化について問う

【質 問】ポータルサイトを作成するなど、区民にとってわかりやすいオンライン化を求める。見解は。

【区 長】利用者との接点となるポータルサイトの整備など、改善に取り組んでいく。

## 農地保全について問う

【質 問】区内農地の面積が年々減少しているため、区による農地の買取りをすべき。

【区 長】都市農業の価値を開拓していく中で、可能性としてはゼロではないが、現時点でその考えはない。

## 登録猫ボランティアの募集期間について問う

【質 問】募集期間が非常に

【区 長】今後、各部署における行政課題の整理や民間との連携ニーズを明らかにし、早期にテーマ指定型の提案募集を開始し、互いの強みを生かした効果的な公民連携を進めていく。

【質 問】食べきりチャレン

【質 問】公民連携デスクについて、テーマ指定型の提案方式を早期に実施し、公民が連携した事業展開へ発展するスキームを構築すべき。

## SDGs関連施策を問う

【質 問】公民連携デスクについて、テーマ指定型の提案方式を早期に実施し、公民が連携した事業展開へ発展するスキームを構築すべき。



支援協議会の高次脳機能障がい部会での検討内容なども踏まえながら、必要な支援を行えるよう検討していく。

## 教員の指導力について問う

【質 問】学校社会でしか通用しない理不尽指導がある。社会常識に合った指導を行い、学校独自の指導文化を変えるよう教育委員会が主導すべき。

【教育長】教員が指導の目的を見失わずに、時代に合った新しい指導方法を生み出す環境を整えるとともに、学校現場を支援していく。

## 部活動地域移行について問う

【質 問】部活動地域移行に係る費用や期間を考慮したうえで、やり抜く覚悟を伺う。

【教育長】入りたい部活動が中学校にない生徒や人数が足りず試合に出場できない生徒など、これらの生徒を誰一人取り残さないためにも、困難な課題は承知のうえで、地域移行をやり抜く所存である。

※以上のほか、ふれあい館について質問があった



いわい 桐子

(共産党)



## 障がい者の権利保障を求めて

【質 問】障害児福祉サービスの所得制限を撤廃すべき。

【区 長】現在、全事業での撤廃は考えていないが、障がい児への日常生活用具給付事業に関しては、7年度より所得制限を廃止する予定である。

【質 問】ただちに障がい当事者や団体が参加する場で検討を行い、障がい者福祉のワンストップサービスの構築を一日も早く実現すべき。

【区 長】6年度に、福祉事務所の障がい者支援機能を本庁舎と健康福祉センター内に移設し、一貫した支援体制を構築した。新たな組織改正は考えていないが、誰もが安心して暮らし続けられるまちの実現に向け、取り組んでいく。

## 地域課題について問う

【質 問】上板橋駅南口に整備予定の地下自転車駐車場にバイクなどの専用駐車スペースの設置を求める。見解は。

【区 長】排気量125ccまでの二輪車の駐車スペースの設置を可能としており、EVバイクも含めて駐車可能と見込んでいる。

## 過小規模校への対応強化を

【質 問】過小規模校の統合により、学校施設の防災拠点などの機能をなくしても良い地域があるのか。見解は。



延伸が計画されている区画道路1号

## 高島平のまちづくりを問う

【質 問】交通量調査の結果を受けて、区画道路を高島通りへつなぐ計画を抜本的に見直すことを求める。見解は。

【区 長】高島平のまちづくりを問う



大森

大

(日本維新の会)



## 早朝の子どもの居場所事業について問う

【質 問】様々な課題への対

応策を講じ、区立小学校全校で早朝の居場所事業の実施を。【教育長】登校状況の実態、国や都の動向も踏まえ、課題への対応を検討していく。

## 里親制度の充実について問う

【質 問】取組みを強化するため、まずは里親委託率の具体的な数値目標を設定すべき。

【区 長】6年度に策定する社会的養育推進計画において11年度の里親委託率の目標値を38.6%と設定している。※以上のほか、災害時のペット対策について質問があった



井上 温子

(いたばし未来)



## さらに子育てしやすい板橋へ

【質 問】育児支援ヘルパー派遣事業の申込み促進に向けて仕組みづくりを。

【区 長】妊婦面接や新生児訪問などの機会を通じて適切に周知を図るとともに、利用につなげる仕組も検討する。

【質 問】公共施設において、

とから、区画道路の計画を見直すことは考えていない。

※以上のほか、能登半島地震から1年1国の責任で速やかに復興を、国民健康保険料の引下げと相談強化を、軍拡で生活抑制から「社会保障や教育こそ優先する国」へ、「带状疱疹ワクチン接種費用助成の縮小撤回を」について質問があった



※以上のほか、フルインクルーシブ教育について質問があった